

組 織 表 (昭和九年三月末日現在)

本年度加盟者數 二、四四五名

内 譯	八 年 四 月	五 月	六 月	七 月	八 月	九 月
内 譯	一七五名	二九五名	二二三名	一五七名	一八七名	一九七名
内 譯	十 月	十一 月	十二 月	九 年 一 月	二 月	三 月
内 譯	一五四名	二二八名	二二七名	一八〇名	一七一名	二七一名

本年度除籍者

二七三名

死亡者 二二八名
 規約違反者 二二名
 任意退會者 二四名

昭和七年度末組員數

九六、一六八名
 九八、三四〇名

甲 部 三、六二四名
 乙 部 四、〇三四名

一級船内交渉

船 主	船 名	月 日	交 涉 理 由	解 決 條 件
大同海運	二大源丸	四月八日	増員要求	一名増員
日本合同工船	獨航丸 (七隻)	四月九日	食料金増給還航手當	食料金は四月十一日より支給、給料は一ヶ月平均三圓増給還航手當は歸函の際協議の上適當考慮す
日本食鹽	日の丸	四月十一日	増給要求	四名に對し各一圓宛増給六名に對し一級船並に増給
田中商事	平龍丸	四月十三日	機部員一名増員要求	貫徹
日本合同工船	蟹工 (七隻)	四月十四日	過剩人員整理、A型B型給料同率支給、北洋丸賣船手當	過剩人員三名は二名を大北丸に一名を讃岐丸に増員乗船せしむ、B型乗組員に對しては作業手當と解散手當をA型並に支給、北洋丸賣船手當は即時支給
高橋商店	泰福丸	四月十九日	最低賃銀不實施 (昭和七年十二月以來)	士官普通船員を通じて八五〇圓支給
栗林商店	福榮丸	四月廿一日	日支船員交代	六月中に全員を日本人船員と交代せしむ
小川合名	大正丸	四月廿三日	増員要求	機部員一名増員
菅谷汽船	美春丸	四月廿二日	最低賃銀不實施	即時復活
高橋善平	熱田丸	四月廿八日	團體協約履行要求	水夫長附長は月額十二圓五十錢、舵夫油差は月額三圓五十錢、水夫は月額二圓を夫々三月一日に遡及して支給
間瀬徳次郎	甲辰丸	四月廿八日	團體協約並に給料協定	一、海事協同會標準給料支給 二、普通船員は組合員たるべき事 三、雇入は協同會を通じて行ふ 四、食料金は一人十五圓支給